

ウイルス性肝炎領域における愛媛県医療安全講習会

■ 背景

B型肝炎およびC型肝炎ウイルスについては、治療せずに放置すると肝硬変や肝がんに進化する恐れがありますが、肝炎ウイルス陽性となっているがまだ治療に結び付いていないケースがあります。昨年改訂された「肝炎対策基本指針」（肝炎対策基本法9条1項）において「医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む」と対策を促されている状況にあります。また令和5年3月9日に厚労省から「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼」（健が発 0309 第2号）が発出されより医療機関への対応が求められています。

■ 目的

愛媛県内の医療機関内において、肝炎ウイルス検査結果の告知漏れを防ぐと共に、肝炎ウイルス検査において陽性となった患者を専門医受診に繋げる仕組みを構築する事により、肝炎患者の早期発見と治療を図り、肝癌発症予防及び重症化を予防する事。

■ 開催概要

1. 日時 : 令和5年12月4日(月) 19:00～20:30
2. 形式 : Web配信(zoomウェビナー) 聴講形式はWebのみ
3. 対象者 : 愛媛県内の病院および有床診療所の施設管理者、診療部門責任者、医療安全責任者
検査部門責任者、肝炎医療コーディネーターまたは候補者、全ての医療従事者



当日は下記URL又は二次元コードより事前登録頂きご参加下さい。

<https://bit.ly/45PuUAV> ウェビナーID: 979 8049 8320 ウェビナーのパスコード: 601542

■ 講演会内容

セッション1 司会: 愛媛大学医学部附属病院 肝疾患診療相談センター センター長 徳本 良雄 先生

講演1 19:00～19:10 「愛媛県における肝炎対策について」

愛媛県 保健福祉部 健康衛生局 健康増進課 感染症対策グループ 平松 夕奈 様

講演2 19:10～19:25 「当院におけるC型肝炎ウイルス陽性者の拾い上げ及び廻り対応について」

松山市民病院 看護部 酒井 由希子 様

講演3 19:25～19:45 「「受検」を「受診」につなげる肝炎ウイルス検査陽性患者の拾い上げ」

愛媛大学医学部附属病院 肝疾患診療相談センター 副センター長 今井 祐輔 先生

セッション2 司会: 愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学 教授 日浅 陽一 先生

特別講演 19:45～20:30 「C型肝炎ウイルス撲滅の壁/認知バイアスを医療安全で考える」

近畿大学医学部附属病院 医療安全部 教授 辰巳 陽一 先生

■ ご協力をお願い

本講演会終了後、退出ボタンを押して頂きますとweb上にてアンケートが立ち上がりますので、ご協力宜しくお願い致します。

主催: アブヴィ合同会社 後援: 愛媛県 愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センター

お問い合わせ先: アブヴィ合同会社 加藤訓寛 kunihiro.kato@abbvie.com 080-2020-5013